

仙川駅周辺地区

(東京都調布市) 第1回まち交大賞 アイデア賞

計画期間 平成16年～20年

面積 140.7ha

交付対象事業費 2,187百万円

市人口 213,036人 (地区内人口 17,245人)

ポイント 芸術文化資源を生かした「音楽・芝居小屋のあるまちづくり」

地区概要 地域交流センター(芸術文化施設)等の基幹事業と保育園の提案事業を一体的な複合施設として整備することにより、地域の活性化と市民の芸術文化享受を図る。

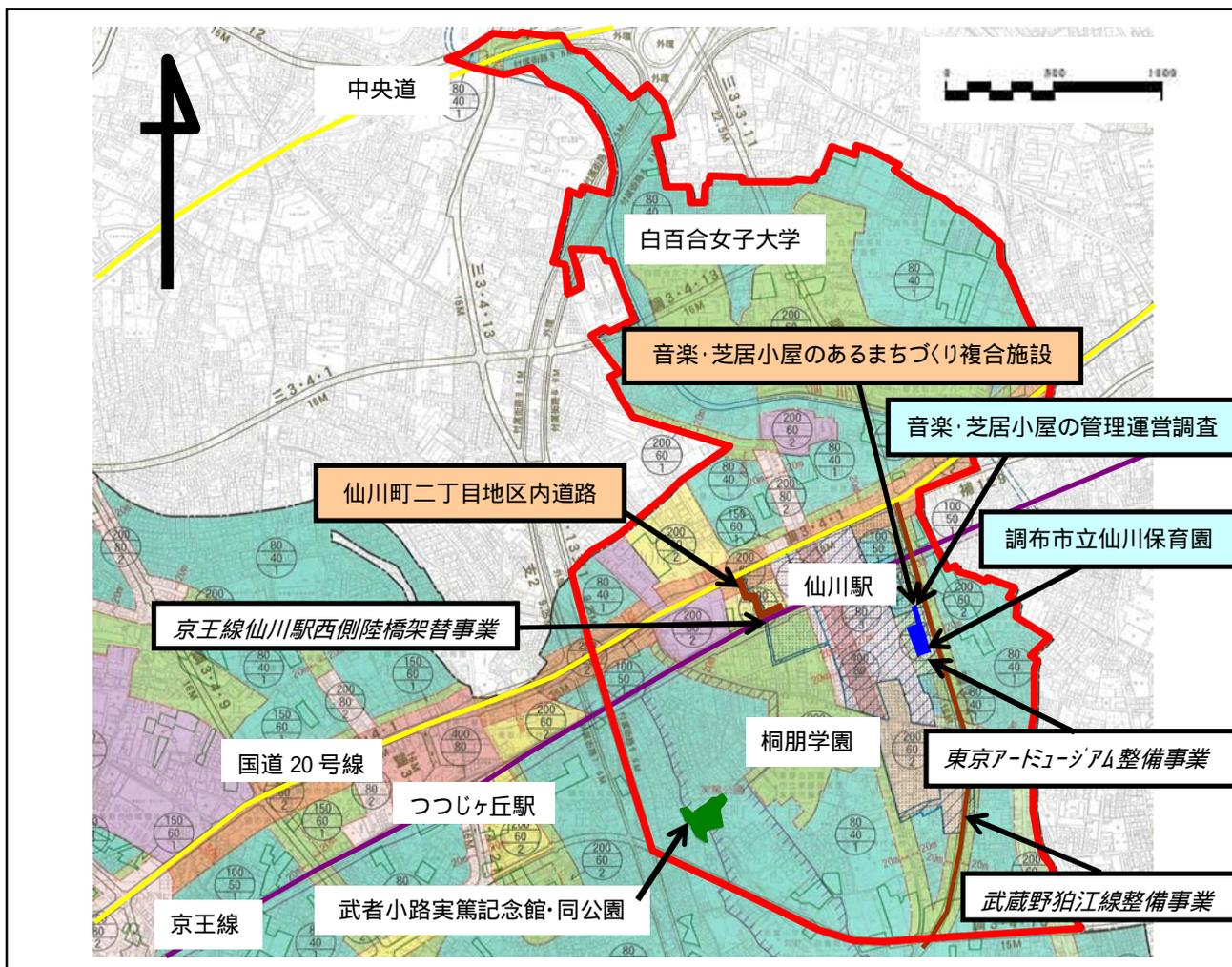
目標 芸術文化施設と保育園の複合施設を整備し、地域の活性化と交流回数の増加により文化享受を図る。

指標 地域交流センター(芸術文化施設)と保育園との複合施設を整備することにより、地域を訪れる人の増加による地域の活性化と、複合施設利用による保育園児への文化教育等の相乗効果を目指した。

駅乗降客数	63,000人 (H14)	64,000人 (H19)
複合施設来客数	2,000人 (H15)	20,000人 (H19)
芸術文化と保育園児の交流回数	1回 (H16)	12回 (H19)

事業内容 基幹事業(1,197百万円)
提案事業(990百万円)

道路(幅員6m、延長171m)、地域交流センター(1カ所、1,360㎡)
保育園(1カ所、1,720㎡) 地域交流センター管理運営調査(1カ所)



地区の現況と課題

仙川駅周辺地区は、古くからの魅力ある商店が駅の西側に軒を並べて商店街を形成しており、教育施設や文化施設に恵まれた地域によって、若者や地域住民の賑わい空間となっている。そんななか、平成11年に市へ東部地域の声として芸術文化施設建設の要望が寄せられ、検討の末、地域資源を活かしたまちづくりを進めるため「音楽・芝居小屋のあるまちづくり」を調布市基本計画に位置づけた。

一方、調布市立仙川保育園は時間経過とともに老朽化が進み、施設の建替えを検討する状況であった。このため、隣接する土地と一体となった土地利用計画による地域交流センター（芸術文化施設）を計画した。また、音楽・芝居小屋の機能・運営方法については、市民参加の検討委員会において、施設拡充の提言が出されている。



教育・文化施設に恵まれた地域



老朽化した保育園

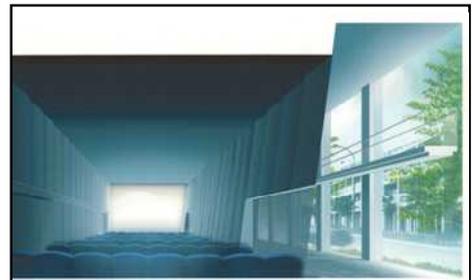
提案事業の特徴

芸術文化施設と保育園との複合施設の設置

芸術文化施設と保育園との複合施設とし、地域の子育てを支援し、児童福祉の観点から、園児たちが芸術文化を享受できるような複合公共施設の整備を図る。

芸術文化施設と保育園との複合施設管理運営調査

複合施設の運営方法について、市民自らが芸術文化の創造の場となる支援・援助等を可能とする施設運営の実施や、より市民向けに開かれた事業展開が可能となる拠点施設にすることを目的に、市民・専門家等から広く調査し、管理運営方法を策定する。



芸術文化施設と保育園との複合施設

計画策定プロセス

庁内PTの開催

平成13年度～14年度において、庁内プロジェクトチーム（庁内PT）「音楽・芝居小屋のあるまちづくり検討部会」による基本構想を策定した。

市民参加の検討委員会

市民参加により「音楽・芝居小屋検討委員会」を平成16年度7回開催し、施設の実施設設計にあわせた施設計画・運営計画等の検討を実施した。

検討委員会の意見の反映

「音楽・芝居小屋検討委員会」での検討内容を反映し、芸術文化施設と保育園との複合施設の実施設設計をまとめた（平成16年度～17年度）。



市民参加検討会の様子

調布市長長友貴樹氏のコメント

当地区は、芸術系の大学や研究施設、武者小路実篤記念館などの芸術文化施設を有しており、芸術文化を育む文化薫るまちを目指している地区です。

今回対象事業では、芸術文化施設と保育園との複合施設として、双方が共存できる施設計画及び運営方針を策定する必要がありました。このため、庁内の横断的な組織を立ち上げ、市民参加を十分に図りながら実施計画を作成しました。

当初は、複合施設の実現性を疑問視する声もありましたが、市民参加による検討を重ねた結果、地区の特性に相応しい本施設に対する理解と賛同を得ることができました。現在では、市民主体の芸術施設も立地しており、まちの理念が地元に根付いてきているものと判断しております。